

事業所名

こどもひろばポーポーの木なかの

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

4月

30日

法人（事業所）理念		1. 自分は大切な存在 2. こども達の笑顔を大切に 3. 思いっきり遊ぼう											
支援方針		1. こどもの感情をしっかり受け止め頑張っていることをしっかり褒め自己肯定感を育む。2. 第二の家として、無条件に安全に安心してみんなと笑顔で過ごせる場所 3. 見たり、聞いたり、作ったり、味わったり、いろんな活動を通じて感情や想像力を発達させお友達と関わる中でルールを学ぶ。											
営業時間		平日 土、祝	10 9	時 時	00 00	分から 分から	19 18	時 時	00 00	分まで 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康状態を把握することで細かな異変に気付いたり、生活に必要な基本敵技能（食事、排泄、衣類の着脱、身の回りの清潔など）の獲得など、こどもの状態に応じて適切な時期に適切な支援を行う。											
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上や、姿勢保持や身体移動能力の向上、保有する感覚の活用など遊びや、活動を通じて支援する。											
	認知・行動	個人個人の認知の特性を理解したり、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、認知機能の発達を促す支援を行う。環境や状況を把握・理解できるようにするとともにこれらの情報を的確な判断や行動につなげることができるように支援する。											
	言語 コミュニケーション	ことばによるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り手振り、簡単な手話、図や文字なども用いて意思のやりとりが行えるようにするなどの支援を行う。伝える側と受け取る側との人間関係や、その時の状況を適格に把握し、場や相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援する。											
	人間関係 社会性	遊びや活動を通じた社会性の促進や、他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働きかけを受け止め、それに応じることや場に応じた適切な行動ができるように支援する。											
家族支援		家や学校、事業所での様子等の確認。落ち着いて過ごせるよう情報共有を行う。				移行支援		日常的な連携に加え、卒業後の進路に向けて本人がスムーズに移行できるように情報共有を行う。					
地域支援・地域連携		各関係機関で情報共有を行い、支援の統一化を図る。				職員の質の向上		事業所内、外の研修、委員会の伝達研修等を通じて職員の質の向上を目指す。					
主な行事等		誕生会、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会											